

2021年7月1日

各位

東京都千代田区神田錦町2-1-1  
安田不動産株式会社  
代表取締役社長 中川 雅弘

## 2021年3月期 決算（単体）について

以下の事項について、別紙のとおりお知らせいたします。

1. 2021年3月期 決算（単体）

（本件に関するお問合せ先）  
安田不動産株式会社  
経営企画部 志村・平田  
TEL 03-5259-0517

1. 2021年3月期決算（単体）

(1) 貸借対照表及び損益計算書の要旨（単体）

貸借対照表の要旨

(2021年3月31日現在)

(単位：百万円)

資 産 の 部		負 債 及 び 純 資 産 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
<b>流 動 資 産</b>	<b>24,509</b>	<b>流 動 負 債</b>	<b>19,528</b>
現金及び預金	14,224	1年以内返済長期借入金	12,045
その他の	10,285	その他の	7,482
<b>固 定 資 産</b>	<b>283,243</b>	<b>固 定 負 債</b>	<b>163,866</b>
有形固定資産	190,336	社債及び長期借入金	130,885
建物	55,932	その他の	32,981
土地	129,345	<b>負 債 合 計</b>	<b>183,395</b>
建設仮勘定	3,914	<b>株 主 資 本</b>	<b>92,072</b>
その他の	1,144	資 本 金	270
無形固定資産	9,282	資 本 剰 余 金	10
投資その他の資産	83,624	資 本 準 備 金	10
		利 益 剰 余 金	91,791
		利 益 準 備 金	67
		その他利益剰余金	91,724
		評 価 ・ 換 算 差 額 等	32,285
		その他有価証券評価差額金	32,285
		<b>純 資 産 合 計</b>	<b>124,358</b>
<b>資 産 合 計</b>	<b>307,753</b>	<b>負 債 ・ 純 資 産 合 計</b>	<b>307,753</b>

損 益 計 算 書 の 要 旨

自 2020年4月1日

至 2021年3月31日

(単位：百万円)

科 目	金 額	科 目	金 額
営 業 収 益	30,852	特 別 利 益	131
営 業 原 価	14,668	特 別 損 失	1,381
営 業 総 利 益	16,183	税 引 前 当 期 純 利 益	11,352
販売費及び一般管理費	3,958	法人税、住民税及び事業税	4,031
営 業 利 益	12,224	法 人 税 等 調 整 額	▲ 644
営 業 外 収 益	1,714	当 期 純 利 益	7,965
営 業 外 費 用	1,337		
経 常 利 益	12,602		

(2) 2021年3月期業績の前期比較と2022年3月期の業績見通し(単体)

①収益の概況

	2021年3月期	2020年3月期	増減	前期比
営業収益	30,852百万円	33,987百万円	▲ 3,135百万円	▲ 9.2%
営業利益	12,224百万円	10,326百万円	1,897百万円	+ 18.4%
経常利益	12,602百万円	10,726百万円	1,875百万円	+ 17.5%
当期純利益	7,965百万円	7,248百万円	717百万円	+ 9.9%

②主要な収益項目の内訳

	2021年3月期	2020年3月期	増減	前期比
不動産賃貸収益	21,743百万円	21,802百万円	▲ 58百万円	▲ 0.3%
分譲事業収益	1,645百万円	7,839百万円	▲ 6,193百万円	▲ 79.0%
不動産流動化事業収益	4,954百万円	2,082百万円	2,872百万円	+ 137.9%
仲介鑑定・その他収益	2,507百万円	2,263百万円	244百万円	+ 10.8%

③2022年3月期業績の見通し(単体)

	2022年3月期	2021年3月期	増減	前期比
営業収益	37,700百万円	30,852百万円	6,847百万円	+ 22.2%
営業利益	10,600百万円	12,224百万円	▲ 1,624百万円	▲ 13.3%
経常利益	11,100百万円	12,602百万円	▲ 1,502百万円	▲ 11.9%
当期純利益	7,600百万円	7,965百万円	▲ 365百万円	▲ 4.6%

### (3) 2021年3月期業績の補足説明

#### ① 総括

当期の経営成績は、一部保有ビルで新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けたものの、概ね安定的に稼働をしたことにより、不動産賃貸収益がほぼ横ばいとなったことや、分譲事業収益の減少、不動産流動化事業収益の増加等があり、営業収益30,852百万円、営業利益12,224百万円、経常利益12,602百万円、当期純利益7,965百万円と前期比減収増益となりました。

#### ② 部門別営業収益概要

不動産賃貸事業につきましては、テナント誘致活動・関係強化、賃料改定への注力及び前期・当期に竣工したビルが新規・通期稼働した一方、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、前期比58百万円減の21,743百万円となりました。

分譲事業につきましては、レフィール南麻布、ブリリア高輪レフィール等の販売が進捗したものの、販売戸数が大きく減少したことから、前期比6,193百万円減の1,645百万円となりました。

不動産流動化事業につきましては、私募ファンドの物件売却に伴う配当金収入が増加したことにより、前期比2,872百万円増の4,954百万円となりました。

仲介鑑定・その他事業におきましては、大口の仲介案件が成約し、前期比244百万円増の2,507百万円となりました。

### (4) 2022年3月期業績見通しの補足説明

2022年3月期は、営業収益37,700百万円、営業利益10,600百万円、経常利益11,100百万円を見込み、営業利益は1,624百万円の減益、経常利益は1,502百万円の減益となる予想です。

以上